



YMCA学院高校の生徒たち

# 新しい生命には 新しい観念を —夕陽丘校舎にて—



YMCA学院高等学校  
校長  
さとう ひろゆき  
佐藤 裕幸

「新しいぶどう酒を古い革袋に入れる者はいない。そんなことをすれば、革袋は破れ、ぶどう酒は流れ出て、革袋もだめになる。新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。そうすれば、両方とも長もちする。」

(マタイによる福音書 9章17節)

ぶどう酒は「生命」の象徴です。ぶどう酒(ワイン)は赤い液体です。人間にあてはめると、赤い液体と言えば血液です。「ぶどう酒=血液=生命」なのです。

ここで試しに革袋を「観念」に、ぶどう酒を「生命」に置き換えます。「新しい生命を古い観念に入れる者はいない。そんなことをすれば観念は破れ、生命は流れ出て、観念もだめになる。新しい生命は、新しい観念に入れるものだ。そうすれば、両方とも長もちする。」

この箇所は、キリスト教主義の学校が新しい校舎を建設した時や新しい体制がスタートした時によく用いられる箇所です。つまりイエスが言いたかったことは、「私はこれまでにない『新しい生命』を携えている。だから、『古い観念』に縛られる必要はない」ということでしょう。

YMCA学院高校は、2017年春、夕陽丘新校舎に移転しました。生徒や保護者の声を聴き続け、そして今、高校生世代が抱えている課題に対応していくために変化するときが来たと思っています。本校への入学理由は、不登校経験やつらい体験、体調不良など、種々様々です。誰もが多少の不安と希望、期待をもって入学できます。週1~5日の多様な通い方と学びを支援し、生徒に関わりながら、それぞれの自己肯定感を向上させることは、学校の大きな社会的存在意義であると考えています。

昨年度は「学び直し」の新しいクラスをはじめました。

「学び直し」は学習に不安をもっている生徒が安心してやり直せるようにというものです。YMCAが得意とする総合学科を生かしたクラスは、「やりたい」という生徒の気持ちに応えるためのものです。この結果、勉強がわかった、友人ができた、学校が楽しい、ボランティア活動に参加したなど嬉しい声を次々に聞いています。

学習指導要領、そして大学入試は2020年から大きく変わります。知識量や解決力より思考力、判断力、表現力が問われます。YMCAがずっと大事にしてきた人間力が言われ出したのです。私たちは人間力を育てるために、これまで以上に、より生徒と関わる学校としてインクルーシブ教育<sup>(※1)</sup>を推進していきます。今年度からスタートした「毎日通いたいけれど通えるか不安」という生徒が安心して通える通学型のYチャレンジコースでは、アクティブラーニング<sup>(※2)</sup>を充実させたいと考えています。

冒頭の聖書の箇所にもあるように、新しい気持ちで新しい校舎で学ぶ生徒、そしてYMCA学院高校の未来は開けています。

※1 インクルーシブ教育

人間の多様性の尊重等を強化し、障がい者が精神的及び身体的な能力等を可能な限り最大限まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的の下、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぼうとする。

※2 アクティブラーニング

教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人のびとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のびとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

# 新たなスタート

～YMCA学院高校⇔大阪YMCA学院(日本語学校)校舎移転～

## YMCA学院高校(夕陽丘校舎)施設紹介

生徒の皆さんの多様な学びとキャリア支援を通して、確かな人間力を養います。  
そのための施設環境として、以下のように整備しています。

### 1 チャペル

毎月1回、昼休み時間にチャペルアワーを開催します。静かな空間の中で聖書の御言葉に触れ、自分の歩む道を見つめる時を過ごします。



### 2 図書室(自習室)

落ち着いた空間の中で、書物を通して学びを広げる機会を持ちます。



### 3 実習室(通称ラボ)

理科室にあった実験器具や標本などの他、ネットワークに接続できる電子黒板機能を備えたプロジェクターを設置しています。教科書で学ぶだけでなく、自分で実際に見て、触って、感じることを出発点としながら、インタラクティブ(一方向ではなく、双方向型)の電子教材を利用して理解を深め、自ら積極的に学ぶ意欲を育てることができる学習環境です。

### 4 メディアルーム

メディアルームには、デスクトップコンピューターを28台を設置しています。ワードやエクセルなどソフトウェアの使い方だけではなく、高度情報社会で通用するリテラシー教育を行っています。また、教室にはプロジェクターや電子黒板が設置されているため、コンピューター系の講座に加えて、マルチメディア教材を使用した講座にも対応できるように設計しています。中学校までの学習内容を学べるY-ラーニングも生徒が行えるようになっています。



### 5 オストメイト対応多目的トイレ

オストメイトとは、様々な病気や障がいの原因でストーマ(人工肛門・人工膀胱)を持っている方のことを言います。オストメイトが安心して排泄処理できる機能を備えたトイレを整備しました。



## 大阪YMCA学院日本語学科(天王寺校舎)施設紹介

現在34の国と地域からの留学生が320名在籍し、自身の夢と目標に向けて日本語を学んでいます。

### 1 新教室

3階に新しく語学教育に合った広さの教室を、8教室分改修工事を行いました。壁紙も張り替えて、明るい雰囲気の一部屋になりました。



### 2 ライブラリー(自習室)

放課後や空き時間を利用して、宿題や予習復習をしています。



### 3 1階受付カウンター

既存のハイカウンターだけでなく、新たにローカウンターを設置しました。学生とのカウンセリングや来校者との入学相談の際に、また、ボランティアチューターの申し込みの際などに使用します。



## YMCAサンホーム開設20周年



「YMCAサンホーム開設20周年記念礼拝・祝会」を4月9日に開催しました。地域の方やご入居者、元職員など約100名の方々と共に、サンホームの20年を振り返り、また、久しぶりに来られた方々と懐かしい話に花が咲く、楽しいひと時を過ごしました。

礼拝では、社会福祉法人大阪YMCA前理事長の松岡慶一司祭からお祝いのメッセージをいただき、その後4名の方々に長年のボランティアを称えた特別感謝表彰が、まつおかけんいち 松岡慶一司祭からお祝いのメッセージをいただき、その後4名の方々に長年のボランティアを称えた特別感謝表彰が、しまおかまさあき 正明理事長からされました。礼拝後は、ピアニストの坂西涼さんの優雅な音色にしばし酔いしました。

祝会では、デイサービス職員による迫真の「水戸黄門」の演技が笑いを誘い、食生活創造室が心を込めて作ったたくさんの料理が並びました。皆が笑顔で笑い声の絶えない時間の中で、20年の間に培われてきた、多くの人と人とのつながりの広さと深さを実感しました。

愛されて今があることに心から感謝し、「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に



泣く」という、人々に仕え寄り添う姿勢を忘れず、これからも地域課題に取り組んでまいります。



## 私のYMCA体験

### 「自分を変えたい」に寄り添う

大阪YMCA国際専門学校 ながお さとる  
表現・コミュニケーション学科 スタッフ **長尾 聡**

表現・コミュニケーション学科(以下、表コミ)は、全校生徒の7割が不登校経験者です。しかし、どの生徒にも可能性は無限にあり、その可能性を少しでも多く引き出せるように、表コミでは生徒に関わる全ての大人で考え、関わることで、生徒一人ひとりが主人公になっていきます。

今回は、そんな表コミでの一人の主人公のお話です。  
1年生の時はパーカーのフードで顔をすっぽり隠しながら、廊下で過ごすことが多い生徒がいました。声を出すこともほとんどなく、縦横に首を振ることで意思を伝えていました。

そんな彼も毎日通学する中で、必然とスタッフや講師、同級生と関わるようになり、少しずつ自分の意志を伝えることができるようになりました。また、放課後のクラブ活動を通して自分の居場所を見つけ、いきいきと過ごす姿を見せるようになりました。友達と笑い合っって自分のことを話す声が教室で聞こえるようになった頃、将来の夢を見つけることができました。無事に表コミを卒業し、進学先で資格を取った後、この春ついにその夢を叶えました。

最初は話せなかった彼ですが、ずっと「自分を変えたい」という気持ちを持ち続けていました。今の状況はどうであれ、その気持ちがある限り、スタッフはじっくりと寄り添い、応援する。その先に生徒一人ひとりの成長があります。



## 大阪YMCA創立記念礼拝・Yボランティア研修会開催のお知らせ

### 第一部：創立記念礼拝

日時…2017年6月3日(土)  
午前9時45分～10時25分  
場所…大阪YMCA会館9階 903号室  
奨励…いわき あきら 岩城 聡司祭  
(日本聖公会 川口基督教会)

### 第二部：Yボランティア研修会

日時…2017年6月3日(土)  
午前10時30分～午後12時30分  
場所…大阪YMCA会館9階 903号室  
内容  
むらおりゆうすけ  
①基調講演：村尾隆介氏  
(スターブランド株式会社共同経営者)  
「ワイワイ学び、チツも飽きない!」  
「YMCA新時代の前に知っておきたい、  
ブランディングのABCD」  
～全員参加で1日1人「Yファン」をつくるプロジェクト～  
②今後のブランディングの進め方について  
大阪YMCAブランディングタスク

### 懇親会(お弁当) 午後12時30分～13時30分

※別紙「大阪YMCA創立年記念礼拝・Yボランティア研修会のご案内」をご確認いただき、事前にお申込みをお願いします。

担当：大阪YMCA本部事務局(内山、前田、美濃出)  
[TEL] 06-6441-0894 [FAX] 06-6445-0297  
[E-Mail] info@osakaymca.org

## 2016年度 大阪YMCAインターナショナルスクール 15周年記念事業活動報告

Osaka YMCA International School  
15th Anniversary Fundraising Campaign 2016 Report

2016年に開校15周年を迎えた大阪YMCAインターナショナルスクールは、新幼稚園舎の建設やチャリティコンサートをはじめとする15周年記念事業を実施しました。あわせて寄付金活動を実施し、おかげさまで、皆様のあたたかいご厚意が集まりました。ご協力いただいた皆様にこの場を借りてお礼申し上げますとともに、ご報告とさせていただきます。これからも大阪の国際化に貢献する人材を育てるインターナショナルスクールとして精進してまいりますので、引き続き皆様のご支援、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

We would like to thank everyone for contributing to our 15th anniversary fundraising campaign that took place in 2016, including our Charity Concert on October 17th, 2016. We raised a total of 1,769,000 yen from 31 honorable sponsors as listed below. Our sincere gratitude to all the donors and we promise, with your support, to continue to develop OYIS in the years ahead.



### 大阪YMCAインターナショナルスクール 15周年記念事業へのご協力に感謝申し上げます。

50音順・敬称略

池田 和弘  
Ikeda Kazuhiro  
植下 五郎  
Ueshita Goro  
株式会社エムズコレクション  
M's Collection Ltd.  
大阪YMCAインターナショナルスクールPTA  
Osaka YMCA International School PTA  
大阪土佐堀ワイズメンズクラブ  
Osaka Tosabori Y's Men's Club  
大阪なかのしまワイズメンズクラブ  
Osaka Nakanoshima Y's Men's Club  
大見 莉穂・羽蘭  
Ohmi Risui,Uran  
株式会社サンケイビルマネジメント  
Sankei Building Management Ltd.  
三弘建築事務所  
Sanko Construction company  
ト田 啓三  
Shimeda Keizo

下垣内 太・智子・励  
Shimogaito Dai,Tomoko,Rey  
大翔建設工業  
Daisho Construction Company  
南村建設  
Nanto Construction Company  
野上 健  
Nogami Ken  
藤田 芳章  
Fujita Yoshiaki  
藤田不動産有限公司  
Fujita Real Estate Ltd.  
松本 武彦  
Matsumoto Takehiko  
三牧 勉  
Mimaki Tsutomu  
脇本 博  
Wakimoto Hiroshi  
他 教職員  
and other staff and teachers

総額1,769,000円・31件の寄付金が集まりました。

## 不登校児童通所事業 「サテライト平野予」スタート

大阪YMCAでは、大阪市こども相談センターより不登校児童通所事業の委託を受け、5月1日からサテライト平野にて支援をスタートいたします。これまでの不登校児童支援の実績を生かし、大阪市平野地域の中学生たちに寄り添った活動を行ってまいります。

サテライト平野 大阪市平野区喜連6-7-48  
(最寄駅:地下鉄谷町線喜連瓜破駅)

### 大阪YMCA早天祈禱会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第289回 日時…2017年5月19日(金)7:30~8:30

証し…長谷川 洋一さん  
(学校法人大阪女学院 副理事長/  
公益財団法人大阪YMCA 理事)

場所…大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ 大阪YMCA 本部事務局 総務

【TEL】06-6441-0894 【E-mail】info@osakaymca.org

### ■会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2017年3月度報告・敬称略

#### 【新規会員】

岩間 幹雄  
角地 正直  
木下 順子  
小林 直人  
東谷 香穂  
南川 恵美子  
Georg Tumyr  
Torkel Ekenes

#### 【継続会員】

足達 泰司  
池田 和弘  
池田 俊一郎  
石津 雅人  
井関 友香  
伊藤 圭介  
伊藤 正尚  
乾 東雄  
松本 武彦  
井上 都志弘  
井上 陽子  
植下 五郎  
梅村 惇貴  
江見 淑子  
遠藤 徹郎  
遠藤 通寛

大村 肇  
尾形 文二  
岡野 泰和  
岡本 剛介  
岡本 夏実  
小川 健一郎  
加計 純子  
金田 恒  
神谷 尚孝  
川岸 清  
川俣 茂  
金 利紗  
久保 秀美  
桑原 頼子  
小森 敬久  
齊藤 光弘  
佐藤 祐規子  
芝田 光雄  
島田 恒  
清水 誠治郎  
清水 汎  
條 イサヨ  
正野 忠之  
杉浦 眞喜子  
杉山 佳之  
隅田 保

滝口 敏行  
田中 八重子  
谷 正一  
谷川 寛  
谷村 睦  
田原 久美子  
中芝 永次  
中谷 哲造  
中村 茂高  
中村 隆幸  
西野 陽一  
西山 紗次理  
長谷川 洋一  
東 良學  
藤井 大祐  
藤井 弥生  
藤好 基子  
藤原 正巳  
何 早林  
前田 貴史  
前出 孝子  
牧口 望  
松浦 孝次  
松岡 慶一  
松田 明久  
松野 五郎

三浦 直之  
森 雅史  
森浦 隆之  
森本 けい  
文字 文男  
八東 浩一  
柳谷 利起  
箭野 彩花  
山崎 憲  
山田 孝彦  
山中 秀男  
吉岡 香代子  
吉田 由美  
若木 正実  
脇本 博  
和田 早苗  
和田 直人

#### 【継続賛助会員】

株式会社甲南保険センター  
有限会社サイトック  
エンタープライズ  
清風商事株式会社  
日東化成株式会社  
パナソニック株式会社